

## 23. ナラーティワート県



ナラーティワート県はマレーシアとの国境に面したタイ国最南端の県です。県名には“善人の住むところ”という意味があります。面積は4,475平方キロで、そのうちの三分の二は森林と山地です。北はパッタニー県とタイ湾、南はタイ湾とマレーシア、東はマレーシア、西はヤラー県に接しています。

同県の人口は717,366人です。県民の82%がイスラム教徒、17%が仏教徒です。そして残りの1%がキリスト教などを信仰しています。ここではタイ語のほか、“ヤウィー語”と呼ばれる方言が使われています。ヤウィー語はマレーシア、インドネシア及びブルネイで話されているマレー語に似ています。

県内には573堂のイスラム教寺院があり、なかには300年以上前に建立された寺院もあります。また、仏教寺院は65寺、キリスト教寺院は4堂あります。県民のほとんどがパラゴムの木や果樹の栽培、稲作などの農業に従事しています。東部の海岸地帯では漁業も行われています。自然資源に恵まれているため、第三次産業に従事する人はわずかです。



現在、ナラーティワート県はタイ政府による三角経済プロジェクト（IMT-GT :インドネシア・マレーシア・タイ成長の三角地帯）の対象となっている南部5県のうちの1県です。国境地帯の経済と観光の拠点となったスンガイコーロック郡にはマレーシアやシンガポールから訪れる人々が絶えず、文化交流や商業が盛んになっています。

同県には王室の離宮があります。この宮殿は1973年にプミポン国王によって建てられたもの



で、その広さは480,000平方メートルです。内部には国王や王妃の御殿のほか、王室一族の御殿があります。通常、王室の方々は8月から10月にかけてこの宮殿に滞在され、公務を遂行したり国境地帯に住む人たちをお訪ねになります。宮殿は王室の方々がご滞在されていない時は一般公開されており、おごそかな雰囲気を感じることができます。また、敷地内には工芸センターがあり、地域の人々に陶磁器づくりの研修を開催したり、陶磁器の販売を行っています。

# HTA

HIROSHIMA-THAILAND  
ASSOCIATION

広島タイ交流協会

広島タイ交流協会 事務局

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F

タイ国政府通商代表事務所広島内

Tel : 082-249-1600 Fax : 082-249-9921

■E-mail : mitaphaaphta@do2.enjoy.ne.jp

## 23. ナラーティワート県

県内には自然を堪能できる観光スポットがいくつもあります。なかでも294平方キロの面積を有するカオブドー・スンガイパーディー国立公園には豊かな森林が広がり、その見事さはタイ国内でも一二を争うほどです。園内では“パーチャーの滝”と呼ばれる落差60メートル、9段の美しい滝を見ることができます。

また1988年には、世界で初めて金色の葉を持つ植物が発見されました。デンマークの植物学者 Kai Lasem博士によって発見されたこの植物には *Bauhinia Aurefalia* という学名がつけられました。広範囲に延びる蔓性植物で、ピロードのような金色の毛が葉の表面を覆っています。日光を浴びるときらきらと輝き、その美しさはひととき目を惹きます。

